

2023年8月6日  
8月第一主日礼拝式／聖餐式



# 75 ただ一つの願い

ただひとつ わたしの願い求めは  
主の家に住まうこと いのちのかぎり

うるわしき主を 仰(あお)ぎ見て  
主の宮(みや)に住み 主を想う  
うるわしき主を 仰(あお)ぎ見て  
主の宮(みや)に住み 主を想う

## 2 み前につどい

1. み前に集い 主のみ名をあがめよう  
み前に集い 主のみ名をあがめよう  
救い主キリストのみ栄えをほめようとしえに
2. 心をあわせ 主のみ名をあがめよう  
心をあわせ 主のみ名をあがめよう  
救い主キリストのみ栄えをほめようとしえに
3. きよき手をあげ 主のみ名をあがめよう  
きよき手をあげ 主のみ名をあがめよう  
救い主キリストのみ栄えをほめようとしえに

新聖歌263番 「罪 咎(とが)を赦され 神の子とせられ」

1 罪 咎(とが)を赦され 神の子とせられ

大いなる喜び われにあり

\* 麗(うるわ)しき笑顔と 力ある御手もて 常に導きたもう

イエスキミの 愛の広さ深さ われ歌わん

2 わが心は開き 感謝に満ちあふれ

新たなるほめ歌 常にあり \* (くりかえし)

3 今 常世(とこよ)の岩に 支えらるる身は

陰府(よみ)をも 死をもなど 恐るべき \* (くりかえし)

4 われ世(よ)にある限り イエスをほめ歌わん

天(あま)つ国に行かば なお歌わん \* (くりかえし)

アーメン

# 使徒信条(しとしんじょう)

われは天地の造り主、全能の父なる神を信ず。  
われはそのひとり子、われらの主、イエス・キリストを信ず。  
主は聖霊によりて宿(やど)り、処女(おとめ)マリヤより生まれ、  
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、  
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府(よみ)にくだり、  
三日目に死人のうちよりよみがえり、  
天に昇り、全能の父なる神の右に座(ざ)したまえり。  
かしこより来たりて生ける者と死にたる者とをさばきたまわん。  
われは聖霊を信ず。  
聖なる公同の教会、聖徒の交わり、  
罪の赦し、身体(からだ)のよみがえり、  
永遠(とこしえ)のいのちを信ず。

アーメン

新聖歌233番 「驚くばかりの」

- 1 おどろくばかりの 恵みなりき  
この身の汚(けが)れを 知れるわれに
- 2 恵みはわが身の 恐れを消し  
任(まか)する心を 起こさせたり
- 3 危険(きけん)をも わなをも 避(さ)け得(え)たるは  
恵みのみわざと 言(ゆ)うほかなし
- 4 御国(みくに)に着く朝 いよいよ高く  
恵みの御神(みかみ)を たたえまつらん

アーメン

新聖歌344番 「なおも御恵み(みめぐみ)を」

- 1 なおも御恵みを なおも御救いを  
なおもわがために 見失(みう)せし主を知らん  
\* なお深く主を なお深く主を  
なおもわがために 見失(みう)せし主を知らん
- 2 なおも御心(みこころ)を なおも御教え(みおしえ)を  
なおも明白(さや)に知らん 御霊なる神を 【\*】
- 3 なおも深く主と なおも交わりて  
なおもわれは聞かん 御声のある時 【\*】
- 4 なおも御栄え(みさかえ)の 富(とみ)の豊かさを  
なおも主の国の 来たるをわれ知らん 【\*】 アーメン

## 主の祈り

天にまします われらの父よ。

ねがわくは 御名をあがめさせたまえ。

御国(みくに)を来たらせたまえ。

御心(みこころ)の天になるごとく、地にもなさせたまえ。

われらのにちようの糧(かて)を今日も与えたまえ。

われらに罪をおかす者を、われらがゆるすごとく、

われらの罪をもゆるしたまえ。

われらをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。

国(くに)と力(ちから)と栄え(さかえ)とは、

限りなく 汝(なんじ)のものなればなり。

アーメン



新聖歌60番 「天地(あめつち)こぞりて」

あめつち こぞりて

かしこみたたえよ

みめぐみ あふるる

父 御子(みこ) 御霊(みたま)を

アーメン